

E-MAIL
ota-kazuaki-r@pr
ef.nagano.lg.jp

校長通信

発行 校長 大田 一昭
〒384-0023
小諸市東雲 4-1-1
TEL 0267-22-0216

教室掲示用

お願い この新聞は保護者の皆様にお渡しください

小諸高等学校 吹奏楽特集 本年度より学校のHPに校長通信掲載しました。

吹奏楽 お見事!!

東海大会 金賞4位

～全国大会へあと一歩～

去る、8月26日(日)吹奏楽東海大会が行われました。東海五県から20校が静岡県アクトシティ浜松に集い、全国大会切符三枚を争いました。結果は、4位。残念ながら全国出場は果たせませんでした。しかし、第三位とは1点差。本校のレベルは全国と僅差であることを証明した大会でした。



小諸高吹奏楽部 感謝込めてコンサート

小諸高校の吹奏楽部は18日、今年度の活動を支援した保護者などへの感謝の気持ちを込めた「ありがとうコンサート」を同校体育館で開いた。

同部は今年度、吹奏楽コンクールの県大会で金賞を受賞したほか、金賞受賞校の中でも最高得点を得た学校にのみ贈られる「藤森章音楽賞」を3年ぶりに受賞。その勢いで東海大会に臨んだが、金賞は受賞できなかったものの、全国大会へ進むことはできなかった。

コンサートでは中部日本吹奏楽コンクールの課題曲「ADVANCE」や全日本コンクールの課題曲「焰」など約10曲を披露。熱のこもった演奏に会場からは大きな拍手が送られた。

9月23日 小諸新聞から掲載

吹奏楽は青春そのもの

部長 普通科 3-2 高瀬 美桜



私にとって部活とは、青春そのものでした。3年間、毎日音楽と向き合い、仲間と先生方と苦楽を共にし、保護者や地域の方々に支えられてばかりの日々でした。

今年の夏はただひたすら、「自信と誇りと感謝」をモットーに全国金賞を全員で目指してきました。自信は音に、誇りは行動に、感謝は気持ちに繋がると信じやってきました。8月28日の14時30分、76人で本番を迎えました。4月の本当に何も無いままから始まった今年の代は、苦勞することも多く最初の頃は無理だなんて思っていた日もありました。でもやっぱり今年にしかできない小諸らしさを作り上げたくて、どの学校よりも輝いている部活にしたい気持ちがありました。

本番が終わって、悔い一つもありませんでした。今できる自分たちの全てを出しきりました。終わったあとのみんなの笑顔を見たら自然と緊張が溶け、その日初めてやり切ったんだと実感しました。表彰式が始まってし

ばらくは緊張で記憶がありません。代表校発表の時、惜しくも小諸はあと一点のところで呼ばれることはありませんでした。この夏にかけて、体力も精神的にもみんなで限界までやってきたから本当に悔しかったです。体中がしびれるほど泣いたのも、みんなの心からの悔し涙を見たのもあの日が初めてでした。でも「ゴールド金賞」で小諸高校が呼ばれた時のみんなの嬉しそうな顔を、私は一生忘れません。この一日にすべての思いをかけて挑んだ最後の東海大会は、最高の宝物です。

いつもそばで見守って下さった保護者の方々、私たちを全力でサポートして下さった先生方を全国に連れて行くことができず申し訳ない気持ちでいっぱいです。毎日支えてくださってありがとうございました。そして、この76人でしか味わうことのできない12分間をありがとうございました。これから先、この誇らしい部活動を多くの方とできることを楽しみに待っています。皆と一緒に全国のステージに立ちましょう。



速報復活 陸上王国 県大会団体4位



東信大会 男子団体1位の勢いは県大会でも爆発しました。

月曜、部長、副部長、顧問の先生が校長室に来てくれました。次号で詳しく報告します。